

八峰町有林は、白神山地世界自然遺産のバッファゾーンに隣接し、白神山系山麓部の環境保全に重要な役割を果たしていることから、間伐等森林整備を計画的に実施し、森林の適切な保管理、有効活用とともに温室効果ガス吸収量の増大を両立させ、もって、地域雇用の増大と地球環境保全に寄与します。

八峰町では2007年度から森林施業計画のもと、町有林3,472haの中で、スギ人工林295.25ha(2010年度末)について、20～40%の適切な間伐を、チェーンソー伐採を主体に計画的に実施してきました。今後も間伐を実施し、温室効果ガスの吸収増大に努めるとともに、森林の公益的效果を広く啓発していきます。間伐の実施にあたっては、有用広葉樹の保残に努めるなど、世界自然遺産の隣接地として生物多様性の保全に配慮した取組を行うとともに、地域住民の環境保全意識を高めるため、町有林でのボランティア団体の森林保全活動を促していきます。

プロジェクトの実施場所	秋田県山本郡八峰町
吸収量(クレジット発行量)	3,477 t-CO ₂ (うちバッファ分 104t-CO ₂)
在庫量	※7月10日現在 在庫 2,973t-CO ₂
クレジットの発行時期	2011年6月発行
1t-CO ₂ あたりの希望単価	¥10,000～¥20,000

八峰町有林は、世界遺産・白神山地の西に隣接し、3,000ha以上のスギ人工林を所有しています。

木材産業の低迷により、人工林の多くが手つかずの状態で見捨てられているのが現状ですが、木材産業の活性化、地球温暖化防止のためには、「ヤマに手を入れる」ことが重要です。

森林を整備することによって、山を守るだけでなく、川や海を含めた自然を再生していくプロジェクト、八峰町の、J - V E R クレジットのご利用をぜひご検討ください。

世界自然遺産「白神山地」に接する八峰町では、森・川・海の恵まれた自然環境を保全し、未来に継承する取り組みを推進するとともに、エコ・グリーン・ブルー・ジオ・ツーリズムを促進し、都市住民との交流、教育旅行や体験活動の受け入れを積極的に実践しています。多種多様な業種とのコラボレーションも可能と考えますので、ぜひご活用ください。



森林の適切な間伐



作業道の整備



■担当者連絡先 八峰町農林振興課林業係 木藤
TEL:0185-76-4609 E-mail:j-ver@town.happou.akita.jp